

## 2025年度 授業コード: 22106100

|                                  |   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
|----------------------------------|---|-----|-----------|------|---------------------|----------|----|-----|---|--------|----------|
| 授業科目                             | 家族心理学演習   |     |           |      | 実務家教員担当科目           | -        |    |     |   |        |          |
| 単位                               | 2   | 履修  | 選択        | 開講年次 | 4                   | 開講時期     | 前期 |     |   |        |          |
| 担当教員                             | 水貝 洵子   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 授業概要                             | <p>現代の家族の抱える課題や特徴を発達心理学的視点、臨床心理学的視点から捉え、家族に対する多面的な理解を得ることを目的とする。</p> <p>テキストや文献をもとに、さまざまな発達段階にある家族に関する理解を深めていく。</p> <p>さらに、事例検討やロールプレイングを通し、実践的な気づきを得ながら、家族の支援の在り方について学びを深めていく。</p> |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 授業形態                             | 対面授業  |     |           | 授業方法 | ディスカッション<br>グループワーク |          |    |     |   |        |          |
| <b>学生が達成すべき行動目標</b>              |   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 標準的レベル                           | <p>1. 現代の家族のおかれた状況や、家族が抱える課題について、説明することが出来る。</p> <p>2. 文献を通じた理解と、これまでの経験とを結び付け、家族当事者に関する体験的な理解を得ることが出来る。</p> <p>3. 家族心理学の学習内容を今後の家族支援の実践の参考にすることが出来る。</p>                           |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 理想的レベル                           | 標準的レベルに加え、これまで関わってきた事例や、社会で注目されている家族に関する問題について、家族心理学の視点から考察し、有効な支援の在り方や今後の課題について考察することが出来る。   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| <b>評価方法・評価割合</b>                 |   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
|                                  | 評価方法  |     | 評価割合 (数値) |      |                     | 備考       |    |     |   |        |          |
|                                  | 試験  |     | 70        |      |                     |          |    |     |   |        |          |
|                                  | 小テスト  |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
|                                  | レポート  |     | 20        |      |                     |          |    |     |   |        |          |
|                                  | 発表 (口頭、プレゼンテーション)   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
|                                  | レポート外の提出物   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
|                                  | その他   |     | 10        |      |                     | 授業への参加姿勢 |    |     |   |        |          |
| <b>カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング</b> |   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| DP1                              | ○   | DP2 | ○         | DP3  | ○                   | DP4      | -  | DP5 | - | ナンバリング | WE31414J |
| <b>学習課題 (予習・復習)</b>              |   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 学習課題 (予習・復習)                     |   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 該当箇所の復習および授業で扱った内容についての調べ学習      |   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 1回の目安時間 (時間)                     |   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 4                                |   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| <b>授業計画</b>                      |   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 第1回                              | <p>オリエンテーション：</p> <p>本授業のオリエンテーションを行う。</p> <p>また、小レポートで、家族における課題や現代的な問題において、どんなことに関心があるのか記述し、提出してもらう。</p>   |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 第2回                              | <p>テーマ：家族療法について1</p> <p>事例呈示を行いながら、家族療法における家族の問題の捉え方や考え方について解説を行う。</p>  |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |
| 第3回                              | <p>テーマ：家族療法について2</p>  |     |           |      |                     |          |    |     |   |        |          |

|                       |  |
|-----------------------|--|
|                       | 「多方向への肩入れ」などの家族療法における技法を紹介し解説する。適宜、個人ワークやグループワークを行う。   |
| 第4回                   | テーマ：家族療法について3<br>「リフレーミング」などの家族療法における技法を紹介し解説する。適宜、個人ワークやグループワークを行う。   |
| 第5回                   | テーマ：家族療法の発展<br>事例呈示を行いながら、「解決志向療法」や「ナラティブセラピー」などの心理療法について解説する。   |
| 第6回                   | テーマ：家族の発達<br>家族の発達および家族の健康に関するモデルについて解説する。   |
| 第7回                   | テーマ：乳幼児の子を持つ家族への理解<br>ロールプレイングを用いたグループワークを実施し、家族に対する体験的理解を促す。  |
| 第8回                   | テーマ：乳幼児の子を持つ家族への支援<br>事例呈示を行いながら、乳幼児の子を持つ家族への心理支援の在り方について解説する。   |
| 第9回                   | テーマ：児童期・思春期の子どもを持つ家族への理解<br>ロールプレイングを用いたグループワークを実施し、家族に対する体験的理解を促す。  |
| 第10回                  | テーマ：児童期・思春期の子を持つ家族への支援<br>事例呈示を行いながら、児童期および思春期の子を持つ家族への心理支援の在り方について解説する。   |
| 第11回                  | テーマ：青年期の子を持つ家族への理解<br>ロールプレイングを用いたグループワークを実施し、家族に対する体験的理解を促す。  |
| 第12回                  | テーマ：青年期の子を持つ家族への支援<br>事例呈示を行いながら、青年期の子を持つ家族への心理支援の在り方について解説する。   |
| 第13回                  | テーマ：家族療法事例の検討<br>家族の危機に対し家族療法を用いて支援を行った事例を読み、効果的な支援のための支援者の家族に対する理解の仕方や支援姿勢についてディスカッションする。                                   |
| 第14回                  | テーマ：心理劇やロールプレイングを用いた家族支援<br>心理劇やロールプレイングを用いた家族支援の方法を受講者を参加者として実際に実施し、体験的な理解を促す。  |
| 第15回                  | テーマ：授業のまとめ<br>これまでの学習内容のまとめを行う。  |
| テキスト                  | 授業中に適宜プリントを配布する。   |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 「発達家族心理学を拓く 家族と社会と個人をつなぐ視座」 柏木恵子（監修）塘利枝子・福島朋子・永久ひさ子・大野祥子（編） ナカニシヤ出版<br>「家族心理学 家族システムの発達と臨床的援助」 中釜洋子・野末武義・布柴靖枝・無藤清子（著）有斐閣ブックス |

|                  |   |
|------------------|---|
| 課題に対するフィードバックの方法 | レポートを通じて出された授業内容に関するコメントや質問は、適宜授業内で紹介し、回答を示す。   |
| 学生へのメッセージ・コメント   | 社会福祉学の基礎科目を履修していること。<br>家族に関する文献やニュースなどに関心をもって接するようにし、これまでに出会った事例を思い浮かべておくと、授業内容に活かされる。<br>ロールプレイングなどのワークを適宜実施する予定である。ワークやディスカッションへの積極的な参加が求められる。 |